

参加の皆さんへ

顧問の先生を交えて、チーム全員で必ず読み合わせて下さい。

1. 試合の組合せについて

組合せに当たっては、春の高体連都大会の個人戦（シングルス・ダブルス予選S F以上）と団体戦（ベスト5 6以上）、都立個人戦（シングルスベスト8以上）の成績を参考にしました。

2. 試合方法及び諸注意

(1) 試合日程・集合・点呼

- ① 試合の会場・日時を別紙の組合せ表で確認すること。
- ② 指定時刻までに選手全員がプレーできる服装になって出席を届け、オーダー用紙を提出すること。※オーダー用紙はHPからダウンロードしてください。
- ③ 出席の際は選手全員が学校発行の身分証明書を提示すること。
- ④ 指定時刻までに引率顧問および4人以上選手がそろわないときは失格となる。
- ⑤ 受付で未使用のボール5缶を提示しチェックしてもらうこと。未使用のボール5缶がない場合は失格となる。

(2) ウェア

- ① 選手はテニスウェアを着用すること。ウェアの規定は高体連の規定に準ずる。試合中のウォームアップスーツの着用は不可。
- ② ゲームシャツへの刺繍・プリントは、学校名・氏名に限り可とする。ただし、サイズは高体連の規定に準ずる。
- ③ 表示物を隠すために、着衣類を裏返して着用したり、違反部分にガムテープ等を貼ったりすることを禁止する。

(3) オーダーと試合順

- ① 作戦オーダーは認めない。ダブルスは、登録選手内のどの組み合わせでもよいが、登録名簿で上位の選手が入るペアがダブルスNo.1となる。（例えば、登録順位1位と8位のペアと、2位と3位のペアとでは、前者のペアがダブルスNo.1となる。）
- ② 試合の順序は、ダブルスNo.1→No.2→シングルスNo.1→No.2→No.3。休息のためにこの順序を変更するようなことは認めない。
- ③ 対抗途中でのオーダー変更は認めない。勝敗決定時点で、登録順位とオーダー順位に問題がない（登録順位の高いものが上位）ときに限り、新たに入るS2、S3のオーダーを変更することができる。対戦校と本部に確認を取ってください。

(4) 試合形式・審判

- ① 決勝も含めすべて6ゲームの1セットマッチ(6-6 7ポイントタイブレーク)とする。
※ただし、ベスト16決めまで、ノードとする。デュースになった場合リターン側は、サイドを選んでください。
- ② 全試合セルフジャッジとする。

(5) ウォームアップ

ウォームアップは3分以内とする。サービス4本とストローク3～4本程度。

(6) 応援・ベンチコーチ等

- ① 応援は原則拍手のみとし、コートレフリーの指示に従うこと。フェアプレーの精神を忘れず相手選手にプレッシャーをかけるような言動が続いた場合、コートレフリーの判断でペナルティーを課すことがある。
- ② プレー中に声を出して応援やアドバイスと判断される言動は慎むこと。
- ③ ベンチコーチは登録監督または登録選手の1名のみが認められる。
※ボールパーソンは、各チーム1名可とする。水筒持参し適宜交代するなど、熱中症にならないように十分注意すること。
- ④ 電源を切らない移動式通信機器のコート内持ち込みを禁止する。試合中（ウォームアップも含）移動式通信機器が作動し、警告後繰り返した場合はその選手を失格とする。

(7) その他

- ① 団体戦は第1ゲーム終了後に休憩がとれる。（ベンチコーチからアドバイスを受けることができる。タイブレーク中のエンドチェンジの際、水分補給はできるが休憩はとれない（ベンチコーチのアドバイスも不可）。
- ② 熱中症対策について
 - 1、ベスト16決めまで、ノーアド1セットで行い、試合時間の短縮を図る。
 - 2、初戦勝敗決定後の対抗について選手を変更することができる。
※対戦校は変更を承諾してください。※本部に変更選手を必ず報告してください。
2対抗目以降は、決定後ポイントで打ち切る。
 - 3、試合が連続で入る場合、コート外で20分の休憩をとることができる。
 - 4、試合開始後30分経過ごとのゲーム終了後に、ベンチに戻り5分間の休息をとることができる。
※ベンチコーチによるアドバイス可 ※日傘など持参してください。
 - 5、ポイント間での給水を可とする。（ポイント間25秒以内）
学校長の認めた教職員（部活動指導員を含む）の引率を必須条件と致します。
- ③ 試合後、勝者校が次回戦のために未使用のボール5缶を敗者校から受け取り、敗者校が使用したボールを持ち帰ること。
- ④ 初回戦は勝敗が決しても5試合行うことを原則とする。ただし、1対抗2時間30分を越えた場合は、勝敗決定時点で会場校の判断により対抗を打ち切る。2回戦以降は勝敗が決した時点で打ち切ることを原則とする。
- ⑤ 貴重品の管理、ラケットなどの紛失に十分に注意すること。ゴミや空き缶等は各自の責任で持ち帰ること。
- ⑥ 写真・動画を撮る場合は、必ず対戦相手と本部から許可をもらうこと。
会場校の迷惑にならないよう、試合後のミーティング等は必要最小限にとどめ、速やかに下校すること。

3. 試合日程・試合結果について

雨天等により予定通り試合が消化できなかった場合については、実行委員会において判断のうえ、その後の日程をホームページで発表します。また当日勝ち残っているチームの速報や、大会結果詳細（大会終了後）など、重要な資料はホームページに掲載します。URL <http://www11.plala.or.jp/toritsu-tennis/>

4. 参加校の顧問の先生方に

今年度の大会は、男子122チーム、女子98チームが参加する大会となりました。また、33校からコートの提供を頂きました。本当にありがとうございます。

本大会は真夏の炎天下で、白熱した試合を連続して数試合戦わなければならないことが予想されます。選手に思わぬ事故が起こらないよう、万全の備えが必要です。また、熱中症等の関係で、顧問（または校長から委嘱された部活指導員）の引率が必須となっております。引率は日替わりでも構いません。男女の会場が別々で大変だと思いますが、よろしく願い申し上げます。なお、関係者の会場への自動車の乗り入れ・会場校への電話での問い合わせは厳禁となっております。

本大会が各都立高校テニス部の練習の成果を発揮する場となり、多くの高校生の感激の場となることを祈願いたします。

令和6年度 都立対抗テニス大会

大会会長
世話人代表

都立日野台高等学校 森田 正男
都立駒場高等学校 富田康次郎
都立東大和高等学校 高尾 晃
都立田無高等学校 坂本 侑輝